

〈律令国家への道〉

○朝鮮半島情勢の緊迫化と倭国の対応

- ・新羅が唐と結び、勢力拡大

660年 百濟滅亡

668年 高句麗滅亡

- ・倭国は百濟復興を支援するため朝鮮半島に軍を派遣するが、663年に唐・新羅連合軍に大敗を喫する。(【1】の戦い)
- ・新羅は676年に半島を統一する。

☆半島での敗北後の倭国の対応

【2】の設置(対馬・壱岐・筑紫)…主に東国から徴発され、守備に当たる。

【3】・【4】の築城…大宰府の防衛施設  
朝鮮式山城の築城(対馬から大和にかけて)

○国内の情勢

- ・孝徳天皇死後、【5】天皇即位(皇極天皇の重祚)

※重祚…一度退位した天皇がもういちど即位すること。名前が変わる。

- ・667年、【6】へ遷都

- ・668年、中大兄皇子が【7】天皇として即位

※661年の齊明天皇死去から668年まで天皇は空位。

- ・668年、【8】を定める(実際の完成は疑われている。)

- ・669年、中臣鎌足死去(死の間際に【9】の姓と大織冠の冠位を賜る。)

- ・670年、【10】を作成(日本最初の全国的な戸籍。)

- ・671年、【7】天皇死去

○中央集権化の進展

- ・672年、【11】の乱…天智天皇の子である【12】皇子と弟である【13】皇子のあいだで争う。

→【13】皇子が勝利し、【14】天皇として即位。

【15】に遷都。

- ・684年、【16】を定める。(天皇中心の身分秩序を形成)



## 確認問題 2-4

- 問1 7世紀後半に朝鮮半島で百濟、高句麗を続いて滅ぼしたのは、唐とどこの連合軍か。 ( )
- 問2 百濟復興を支援するため派遣された倭の大軍が、663年に朝鮮半島南部の錦江の河口で、唐・新羅の両国の連合軍に大敗した戦いを何というか。 ( )
- 問3 白村江の戦いに敗れた後、大宰府の西北、御笠川流域の平坦地に約1 kmにわたる土塁をつくったが、この土塁を何というか。 ( )
- 問4 大宰府北方の大野城など、九州北部から瀬戸内海周辺の山上に防御目的で築かれた城を何というか。 ( )
- 問5 中大兄皇子の主導で667年に飛鳥の都から遷都されたのはどこか。 ( )
- 問6 中大兄皇子は668年に即位して、何天皇となったか。 ( )
- 問7 670年につくられた、最初の全国的戸籍を何というか。 ( )
- 問8 天智天皇の死後におこった皇位をめぐる内乱を何というか。 ( )
- 問9 壬申の乱で敗北し殺された、天智天皇の子は誰か。 ( )
- 問10 壬申の乱で勝利し、天武天皇として即位したのは誰か。 ( )
- 問11 天武天皇が672年に新しく定めた都はどこか。 ( )
- 問12 天武天皇のもとで684年に制定された、皇親を最上位とする新たな姓の制度を何というか。 ( )
- 問13 天武天皇の皇后で、天武天皇の次に即位した天皇は誰か。 ( )
- 問14 天武天皇により制定が命じられ、その死後、次の天皇により施行された法令を何というか。 ( )
- 問15 持統天皇が飛鳥浄御原令にもとづいて作成させた、農民支配の根本台帳となった戸籍を何というか。 ( )
- 問16 持統天皇の時の694年、中国の都の制度にならって、大和三山に囲まれた地に遷都した。この都を何というか。 ( )
- 問17 天武朝の頃に、「大王」にかわって新しく用いられるようになった称号は何か。 ( )

## 発展問題 2-4

- 問1 一度退位した天皇がもういちど即位することを何というか。 ( )
- 問2 孝徳天皇の死後、退位していた皇極天皇が再び皇位についたが、その際、何という名前の天皇になったか。 ( )
- 問3 天智天皇が中臣鎌足らに命じて編纂させたという法令を何というか。 ( )
- 問4 天皇の住まいや政務・儀式が行われる朝堂院などからなる宮城と、官人や民衆が居住する碁盤目状に区画された京とで都を構成するという、中国の都の制度を何というか。 ( )